

「学校教育目標」と「令和5年度の重点目標」に向けて

- 1 自ら考え、自ら学び、自ら鍛える生徒の育成
- 2 人間相互の理解と信頼を深め、調和的成長をめざす生徒の育成
- 3 責任を重んじ、豊かな社会性と公正な判断力を養う生徒の育成

豊かな人間性

- ・自らを律しつつ、他人と共に協調し、相手や周りを思いやる心や感動する心を持った生徒

健康・体力

- ・自他の命を大切にする生徒
- ・基本的生活習慣を確立した生徒

資質・能力の育成

何ができるようになるか
○学校教育の基本

- ・他者の意見を丁寧に聞くことができる。
- ・様々な情報を収集・整理・活用できる
- ・情報を理解し、文章や発話により表現することができる
- ・微細な変化に気づけ、場面に応じた対応ができる
- ・最後まであきらめずにやり遂げる力
- ・人や社会と関わり自己を表現し、他者と共感することができる力
- ・物事に進んで取り組む力
- ・仲間と協力しながら物事を達成させることができる力

何が身に付いたか
○学習評価を通じた学習指導の改善

- ・傾聴力
- ・情報活用能力
- ・言語能力
- ・問題発見・解決能力
- ・達成力
- ・コミュニケーション能力
- ・主体性
- ・協調性

生徒の実態

- 素直で真面目である
- 心優しく思いやりがある
- 基礎学力を高める必要がある
- より高い自己有用感の獲得が必要である
- コミュニケーション能力の向上が必要である

生徒の発達をどのように支援するか
○配慮を必要とする生徒への指導

- ・個に応じた支援
- ・外部機関との連携
- ・通級による指導

目指す生徒の姿

- 目標に向かって絶えず努力する生徒
- 自分で考え正しく判断し、進んで行動できる生徒
- 目標実現のための学力を身につけ、逞しい精神と身体を持つ生徒

何を学ぶか
○教育課程の編成

- 義務教育段階の内容を含め、高校における基礎的・基本的事項
- 言語活動の充実

どのように学ぶか
○教育課程の実施

- 主体的に学ぶ
- 体験的な学び
- 対話を重視した学び
- 外部と連携した学び
- スモールステップ

実施するために何が必要か
○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- ・地域との連携・大学等外部機関との連携（学生ボランティア等）・研修の充実（わかりやすい授業・努力した成果が見える等）・学校評価や年度末反省等を行かしたPDCAサイクルの確立

安心・安全を守る

- ・安心して過ごせるクラスづくり
- ・地域社会との連携
- ・保健教育の充実

開かれた学校作り

- ・学校ホームページを活用した積極的な情報発信
- ・家庭、地域との連携強化
- ・総合的な探究の時間における地域との連携